

こう見えて実は、歴史ある温泉です。

頓原の天然炭酸温泉の歴史

当温泉の源泉は、「太古の頃、大国主命(おおくにぬしのみこと)が岩の間から湧出する霊泉を発見された」との言い伝えがあり、古くから土地の人々に利用されてきました。

明治十三年、製鉄業などに関わる事業家であった頓原の片山茂五郎氏が、この鉱泉に注目し、当時の内務省司薬場に分析を依頼したところ、諸病に効能があることがわかりました。(当時の記述では『胃弱』『嘈雜呑酸(むねやけ)』などに効用があると記されています)。

翌、明治十四年、この水をドイツで開かれた『萬国水産博覧会』に出品したところ、「世界希有の銀泉なり」と賞賛され、褒賞を受賞しました。

また、明治二十三年に東京で開かれた『第三回内国勸業博覧会』では、有効賞を受賞しました。

その後、片山氏は『琴月堂』(きんげつどう)という会社を設立し、この炭酸水を瓶詰めにして『琴引泉』(ことびきすい)という名前商品化し、大阪方面に出荷していました。



琴月堂の「琴引泉」。当時の瓶とラベル
片山家蔵

『琴引泉』は今、『ラムネ銀泉』として、人々の健康維持に貢献しています。



湯治場として繁盛

『ラムネ銀泉』の近くには、かつて『塩ヶ口温泉』という湯治場がありました。

『塩ヶ口温泉』は、連日芸者による弦歌も聞こえて、大変な繁盛ぶりだったと伝えられています。

特に「土用の丑の日」には万病に効くとのことで、たくさんの湯治客が訪れ、賑わっていたそうです。

『塩ヶ口温泉』と『ラムネ銀泉』は、時を隔てた、同じお湯の湯治場です。



明治時代の写真
左手の建物が「塩ヶ口温泉」
右手正面は炭酸水瓶詰め工場



昭和三十九年、
民家の庭先で炭酸泉が高く吹き上がった様子

ラムネめぐり

スタッフ一同、
笑顔でお待ちしています。



湯

水入らずで過ごすなら **ラムネ貸切銀泉**

ラムネ銀泉浴場

『ラムネ銀泉』には3種類のお風呂があり、もっとも『ラムネ銀泉』らしさを楽しんでいただけるのが『ラムネ銀泉浴場』です。

めずらしい炭酸温泉と日ごとに七色に変わるお湯をゆっくりとご堪能ください。売店には地元の特産品やラムネ銀泉みやげなどを、たくさんご用意しています。



ご家族やグループで温泉を楽しみたい方は、『ラムネ貸切銀泉』をご利用ください。大人なら3人、家族の場合は大人2人・子供2人程度が入れる大きさの温泉です。写真左側の浴槽は温泉、右側は低温泉です。2つのお湯を交互にご入浴いただくときに血循環がよくなり、健康増進に役立ちます。60分/1,900円～(※要予約)

源泉

『ラムネ銀泉』の源泉は、温泉から少し山側に入った宇山地区の河川敷にあり、炭酸泉が今日もシュワシュワ湧き続けています。

温泉敷地内にあるラムネ銀泉シンボルの水車は、源泉からひいた炭酸泉を動力源として回っています。

※飲用はできません。



足元の不安な方も安心してご入浴いただける
大型バリアフリータイプもあります。



大型バリアフリータイプは浴槽と脱衣場が広く、スロープ、手すりを完備しています。脱衣場へは外から直接出入りできます。60分/1,900円～(※要予約)

お湯の特長

① 肌に炭酸がいっぱい付きます。



② 日ごとに七色に変化していきます。



③ 日本でもめずらしい炭酸ガス・炭酸水素イオン混在温泉です。

- 源泉に含まれる炭酸ガス: 1,040ppm、
 - 源泉に含まれる炭酸水素イオン: 1,260ppm
- の、**二酸化炭素素**と**炭酸水素塩素**の相反する性質を高濃度に併せ持つ、日本でも珍しい温泉です。
- 二酸化炭素素…炭酸ガスが皮下の血行を高めます。
炭酸水素塩素…美肌の湯

ラムネ銀泉名物

飲む炭酸
冷えています!!

シロシロ
温泉で販売しています。



湯上がりには『頓原の銀泉』(ラムネ)、『山姥の秘薬』(山野草サイダー)を飲んで、体の中も外もシワシワに!!

お土産にも
大好評!

整体・ヒーリング 癒し処 **KAITO** ラムネ銀泉内

受けてみて初めてわかるこの快感。
体の変化が実感できる整体です。

お問合せ・ご予約 **TEL090-7712-3231**
営業時間/AM10:00~PM8:00
定休日/毎週木曜日、第2・第4日曜日



海藤晃弘(かいとう・あきひろ)
体が悪くなってから来院される方が多く大変ですが、施術後の変化と笑顔を見ることを楽しみにしています。銀泉との相乗効果が身体共に改善しませんか。

健康になりたい方必見!

ホームページ <http://iyasidokorokaito.com/>